

令和7年度第6回小金井市教育プラン検討会議事日程

令和8年3月10日（火）

午後6時開会

開催日時	令和８年３月１０日	開会 閉会	６時００分 ６時４５分	
場 所	小金井市役所第二庁舎８階 ８０１会議室			
出席委員	会 長	末松 裕基	委 員	新井しのぶ
	会長職務代理者	大澤 秀典	委 員	嶋内 和博
	委 員	黒木 智道		
欠席委員	委 員	中村 光志		
説明のため出席した者の職氏 名	庶務課長	内野 敦史	庶務課庶務係長	小平 文洋
	学務課長	笹栗 秀亮	庶務課庶務係主任	大久保 知佳
	指導室長	平田 勇治	指導室指導係長	前川 智一
	統括指導主事	田村 忍		
傍聴者 人 数	なし			

議事内容
(1) 第4次明日の小金井教育プラン（案）について
(2) その他

末松会長 皆さん、こんばんは。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

では、ただ今より、令和 7 年度第 6 回小金井市教育プラン検討会議を開催いたします。

まずは、事務局から配布資料の説明をお願いします。

内野庶務課長 それでは、資料をご覧ください。

資料 1 は、第 4 次明日の小金井教育プラン（案）の本編の資料です。資料 2 は、概要版となります。

本日の配布資料は以上となります。

末松会長 それでは、議事次第に従いまして、会議を進めさせていただきます。では、項番 1「第 4 次明日の小金井教育プラン（案）について」を議題といたします。

前回の会議では、パブリックコメントで寄せられた意見に対しての検討結果をご報告いただきましたが、本日はその結果を踏まえた計画案の最終案を報告していただくことになります。

本日は内容的にも最終確認という形ですので、1 時間かからない程度を想定しております。

では、事務局よりご説明をお願いします。

内野庶務課長 それでは資料の 1、第 4 次明日の小金井教育プラン（案）をご覧ください。また、併せて資料 2 の概要版は適宜、ご確認をいただければと思います。

本日は 11 月から 12 月にかけて実施したパブリックコメントで掲載した計画案からの変更点を中心に、ご説明いたしますので、よろしくお願いします。

まず、表紙及び裏表紙について、現時点では調整中となっております。本編について、全体的な話をする、パブリックコメントの際にお示した案から、写真やイラストを入れ、デザイン化を図っています。

では詳細についてご説明いたします。

冒頭に、教育長挨拶文を新たに追加しました。

次に目次ですが、1カ所訂正がございます。第3章の教育プランの基本的な考え方の4番、施策体系について、23ページとなっていますが、24ページの誤りでした。申し訳ございません。訂正をよろしくお願いします。

5ページからの第2章、「小金井市の教育を取り巻く状況」についてです。6ページの下「市立小中学校の学校数・学級数の推移」の表ですが、パブリックコメントで、特別支援学級の内容についての記載をしてほしいというご意見がございましたので、表の備考欄に設置校について追加で記載を加えております。

続いて、21ページの第3章、「教育プランの基本的な考え方」についてです。22ページから「1. 教育目標」、「2. 基本方針」、及び「3. スローガン」について、パブリックコメントで内容についてのご意見もありませんでしたので、変更等はございません。

続きまして、25ページ、第4章「基本方針に基づく施策の展開」についてです。

27ページをご覧ください。主要事業①「授業変革の推進」についてですが、上段の説明文の下3行はコミュニティスクール等を意識した地域の教育資源の活用という内容を、新たに加えています。具体的には「社会に開かれた教育課程の実現に向け、地域の教育資源を活用した授業を」と内容を修正しています。また、このページの下部分にコラムを作っています。こちらは昨年6月に実施した、中学生ワークショップで出た意見が、どのようにこの教育プランの施策に繋がっているかをコラムとして説明をしたものです。同様に36ページ、42ページ、46ページ合計4カ所にワークショップで出た中学生の意見を掲載していますので、ご確認をいただければと思います。

次に、31ページです。主要事業⑤「個性や創造力を育む文化的行事の充実」です。この説明文の上段ですが、パブリックコメントでは、施策2の「グローバル社会を生きる力を育む教育」のグローバルとの整合性についてご意見をいただいていたので、そこを踏まえて事業の説明の内容を変更しています。

次に40ページです。主要事業の⑩「個に寄り添う不登校支援の推進」の主な取り組みについて、3つ目の取り組みです。令和8年度、東中学校に新設の予定されている「チャレンジクラス」を追加しています。

続いて57ページからは資料編となります。61ページからは小中学生アンケートの自由意見、70ページからは中学生ワークショップで出た主な意見や提案などを記載しています。73ページは用語解説として、パブリックコメントの時にはつけていませんでしたが、新たに作成し、掲載しています。パブリックコメントでの意見を踏まえて、例えば、74ページに「教育系ネットワーク」や、「校務系ネットワーク」について説明を入れています。77ページには、不登校について説明をしています。また、「チャレンジクラス」について用語解説で触れています。このように用語解説の方を作りましたので、確認をしていただければと思います。パブリックコメントの内容を踏まえての変更点を中心に説明いたしました。事務局からの説明は以上となります。

末松会長

前回パブリックコメントの結果と、それに基づく修正案が提示されました。今回はそれがどう変わったかというご説明だと思います。本日が最終回となりますので、最終版をこの会議で確定していきたいと思います。確認したいことや理解を深めるためのご質問でもいいと思います。全体を通して何かお気づきになった点がありましたら、併せてご発言をいただければと思います。デザインやレイアウトも工夫をしていただいて、ポイントやデータも非常に見やすくなっていると思います。教育長のあいさつも非常にエネルギーを感じます。いかがでしょうか。

嶋内委員

大筋は前回確認させていただいた内容なので大丈夫だと思います。パブリックコメントの内容が、かなり反映されているということでよかったと思います。

コラムについて、実際に中学生がワークショップに参加していただいて、こういうふうに繋がっているのだということが、とても分かりやすく載せられているので良いと思いました。

一般の方に分かりづらと思われる、校内ネットワーク、校務ネットワークや教育系ネットワークの解説が入って、そこを読めばそれが統合されるという話なので、非常に配慮された内容になったと思っております。

末松会長

非常に丁寧に用語解説も作っていただいて、作るのもかなり大変

だったと思います。用語解説と照らし合わせながら、教育長の挨拶を読むと、最近のキーワードになるようなことが入っています。コラムに子どもたちの声が入ったのはかなり画期的で、他にはない新しい試みではないかと思います。初めてのことで大変だったと思いますが、形になって良かったと感じています。

本当にこの内容自体が小金井市の姿勢がしっかり感じ取れるようなものになってきたのではないかと思います。何かご感想やお気づきの点があればお願いします。

新井委員 非常に見やすく分かりやすくなったと感じました。イラストが入ったことや、コラムに中学生の意見を入れてくれて、どういうふうにつながっていくのか、ここに反映されているのだということを子どもたちが見てくれるといいと思いました。これを実際に具現化していくのは私たち現場ですので、これを来年度からどう教職員に落とし込んでいこうか、どうやって使っていこうかと考える宿題ができたと感じています。

末松会長 大学で用語だけ見せて、テストに使いたいくらいです。勉強になります。コラムについても子どもたちはここを見たら喜ぶと思います。

黒木委員 まとめ方がとてもよくて見やすく書いてあると思います。施策体系の基本方針は3つですが、概要版の基本方針が4つあります。これはどうして入らなかったのですか。基本方針4はどこ行ったのかと思われる方もいらっしゃるかもしれないと思いました。

内野庶務課長 基本方針は教育委員会で4つ立てたのですが、4番目は生涯学習や社会教育の分野で、今回は学校教育の教育プランになります。今、併せて生涯学習部のほうで、生涯学習推進計画を同時期に作っていますので、そちらに反映されて2つに分かれるようなイメージになります。

末松会長 23ページの※で説明されていますね。

内野庶務課長 概要版のリード文の4行目に、「本教育プランの対象は、小金井市

の学校教育分野（基本方針１・２・３）としており、生涯学習分野（基本方針４）については第５次生涯学習推進計画を策定し、推進していきます」ということで書かせていただいています。

嶋内委員 １点だけ確認です。教育長のあいさつや教育目標の「包摂」という言葉は、非常に意図を持って今回選択されていると思いますが、一般の方でまだ馴染みがない方もいらっしゃると思います。こちらの用語解説には載っていないのですが、わざわざ修正するほどのことではないかと思ったのですが、少し気になったのでコメントしました。

統括指導主事 「包摂」については、教育委員会や議会でも説明をして、特に教育委員会で教育目標を作成する時点で、「包摂」とはこういう意味合いで使っていると説明してきたのですが、これを注釈のような形でつけてしまうと、そのみに定義されてしまうので、広くその多様性を理解し認め合い、尊重するという全てを包み込むような形にするために、あえてその注釈という形ではつけてなかったと記憶しています。そういうところは引き続き教育目標を説明する段階で、理解を広めていく形になると思っています。

嶋内委員 いろいろな解釈ができるので、一義的な意味より、教育委員会としてはこういう思いがあってこれを選んでいるというように説明をしていくほうが望ましいということですね。

大澤委員 多様性の「包摂」に関しては、冒頭にございます教育長のあいさつ文の真ん中あたりに「多様性を包摂し」とあります。われわれも言葉を初めて聞いたときに教育長から、お互いの違いを認め尊重し、共に歩んでいくことだとレクチャーを受けたことがありました。今、統括指導主事のほうから話がありましたとおり、記載をするというよりは、さまざまな分野にまたがっていることから、いろいろな機会伝えていこうという形にしたところがあります。ただ、われわれも少し聞き慣れない言葉なので、教育長の言葉の中には入れておいていただきたいとお願いをした経過があります。

嶋内委員 お話を伺って、そのとおりだと思います。一般的な用語としての

解説ではなくて、教育長のこのあいさつの中で、「多様性を包摂」するとはこういうことですよと、教育長の言葉で説明されていて重要な言葉ですので、ここで説明されていることが大事だと思いました。

末松会長 教育長のあいさつで、well-being はあえて英語になさっているのですか。用語解説ではカタカナで載っています。用語のほうに英語を入れるかですが、なくても問題はないですね。使っている意味合いはこちらのほうが一般的です。

内野庶務課長 教育長がなぜ英語にしたのかというところまでは確認してないので確認をして、もし必要があれば用語解説のほうも少し変更をしたいと思います。

末松会長 英語でもよく使いますし、どちらかに合わせてもいいです。

内野庶務課長 確認をしてみます。

末松会長 最近はカタカナのほうが多いですね。教育長を生かすのであれば、用語解説のほうに括弧して入れるか。

内野庶務課長 そうなりと、英語の記載の表現を用語解説に入れる形になるかと思っています。

大澤委員 18 ページを見ると、恐らく国はカタカナ表記ですね。

末松会長 教育長はそういうものを超えた、思いがあるのでしょうか。「包摂」もそうです。そこは平板にしなくてもいいと思います。

内野庶務課長 用語解説はここだけ英語表記がないところもあったので、用語解説を整理する中で考えたいと思います。コラムの話について、教育委員会の定例会に諮ったところ、ワークショップに参加した16名の中学生には、これが分かるように対応してほしいという意見がありました。完成したら事務局からこのページにコラムがあることが分かるようにして、この冊子を送ろうと考えています。

末松会長

それは喜ぶでしょうね。

ほかに何かご確認や、ご感想でもいかがでしょうか。

冊子のほうは、最後に令和８年度から令和１２年度と記載してありますが、概要版のほうは、発行年がありますが、何年度にこれが意味を持つか、初めて見る人には分からないと思います。年度は入れなくても大丈夫ですか。

内野庶務課長

本編の表紙に「第４次明日の小金井教育プラン」として、年度を入れているので、概要版にも年度を入れるように修正します。

末松会長

正式名称は「あす」ですね。これもどこかに書いてありますか。ぱっと見て、読めないこともあると思います。どこかに一度ルビを振るといいかもしれません。本などでは正式な読み方を書くことは最近増えています。ただ「あす」だけ入れてもいいです。

内野庶務課長

第２次計画も第３次計画もずっとルビはなく策定していることから、確認していきたいと思います。

末松会長

やはりユニバーサル化を考えると、どこまで何をするか非常に判断が難しいところだと思いますが、どこかをたどれば、例えばホームページに載っているとか、そういうのがあれば問題ないかなとも思います。

それでは、全体についてよろしいでしょうか。

ありがとうございました。本日は、細かいところのご意見をいただきましたので、そこも踏まえて、事務局で計画の最終版を取りまとめていただきたいと思います。表記などについて、気づいたこともいくつかあったので、今後もし修正の必要があれば内容にタッチしない範囲で軽微な修正をしていきたいと思います。

なお、この後、もう会議がありませんので、私会長ににご一任をいただいて、必要があれば事務局の方とご相談をして、最後決定をするという流れにしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(一同了承)

末松会長 ありがとうございます。それでは、項番1について本案をもって、
検討会議での検討を終了することにしたいと思います。

 では議題の2番「その他」について、事務局や委員の皆様から何か
ございますか。

内野庶務課長 委員の皆様におかれましては、令和6年度から長きにわたり、ご
議論いただき、誠にありがとうございました。本日お示しした案に
つきましては、今月25日に開催する教育委員会定例会に上程をいた
しまして、ご議決をいただく予定です。

 その後、冊子の作成やホームページでの周知を行っていくスケジ
ュールで進めていきたいと考えております。事務局からは以上とな
ります。

末松会長 委員の皆様から何か質問はございますか。

新井委員 概要版や冊子が来るのはいつ頃になるのでしょうか。

庶務課長 皆様にお配りするのは、4月中となります。印刷が上がり次第、
早急にと考えております。

末松会長 ホームページにも全て掲載されるのですか。

内野庶務課長 ホームページにもデータは掲載いたします。データについては4
月の早い段階で掲載を予定しております。

末松会長 冊子は、すぐ欲しいのですか。

新井委員 教職員にもすべて概要版が行き渡るのですか。

内野庶務課長 紙媒体というよりかは、データになると想定しております。

新井委員 分かりました。ありがとうございます。

末松会長 パブリックコメントについては、ホームページに掲載されている
のですか。

内野庶務課長 前回、報告させていただいたパブリックコメントの意見と、教育委員会からの回答は、既にホームページに掲載しておりますので、どなたでも見られる状態になっています。

末松会長 ありがとうございます。
本日がこの検討会議の最終回となります。皆さん、長きにわたってありがとうございました。最後に何か言い残したことや、ご感想でも一言ずついただければと思います。

嶋内委員 お世話になりました。今回、新たな取組として、子どもたちの声を聞くという意味でアンケートも取られ、ワークショップも開催して、とても良かったと思っています。それがきちんと反映されているということが非常に重要なことだと思いますが、コラムのような形で、子どもたちに分かるようにしていただいているところもいいと思います。これに参加してくれた子どもたちの、自分が意見を出したらこうして形になるのだという、教育的な意味合いもあったのではないかと思います。代表して参加してきた子どもたちかもしれないですが、そういうことが市内の子どもたちにも伝わっていけば、これから子どもたちがいろいろな課題に向き合ったときに、みんな協力して話して決めていこうという、この教育目標にあるような主体性を育てていく文化が小金井市内の子どもたちに根付いていくのではないかと思います。とても良かったと思っています。

新井委員 今まで私たちが現場で使っていたのは第3次の計画で、浸透していたと思います。第4次の計画をこのように細かいところまで気を配りながら作っていたのだということを間近に見ることができて、非常に勉強になりました。一言一句おろそかにしないように、現場でしっかり浸透させるように努力してまいりたいと改めて思いました。勉強になりました。ありがとうございました。

黒木委員 校長になってから、第3次明日小金井教育プランでやってきたので、第4次の計画がだんだん出来上がっていく中で、例えば施策3の「デジタル・シティズンシップ」、施策4の「子どもの声を聴く」とか、施策5の「不登校支援、特別支援」と、それぞれの子どもた

ちにちゃんと対応するような仕組みができていくという、時代の流れを感じるような新しい計画かなと思っています。令和8年度の校長の経営方針はこの第4次明日の小金井教育プランを踏まえてということになると思うので、4月にこれをいただけるとありがたいと思っています。ありがとうございました。勉強になりました。

大澤委員

皆様方におかれては前年度から、また会長におかれましては、会を取りまとめていただき、誠にありがとうございました。委員と事務局的な立場とありましたが、職員が大変よく頑張っていたいて、いいものが出来上がったと思っております。計画ができて終わりではないと思っています。教育目標、教育方針が変わったことがありますので、今、現在、令和8年度の施策をどうしようかというところを揉んでいるところです。それを元にまた点検をしていただいて、またフィードバックしなければいけないということになると思います。学校、教育関係は1年ごとに変わっていく時代だと思っております。多分5年後には学習指導要領も新しく変わっていき、どういう形になっていくのか分からないと思っていますが、とりあえずこの第4次の計画が無事出来上がってよかったと思います。おそらくこれからは、子どもの声を聴くスタイルが定着してくると思うので、1年経って子どもの反応を聞いていくところがまた新たな課題だと思っています。そうしていると、すぐに第5次の計画の策定期間になると思いますが、その際は、この検討委員会のメンバーを含め、どのようにしていくか、検討していただければと思います。

末松会長

2年間本当に丁寧な議論してきたという印象があります。なかなかこういう形はないのではないかと思います。事務局の皆さんは毎回われわれが難しいボールを投げるのを見事に受け止めて、さらに打ち返していただいて、それでどんどん中身が良くなっていくのが体感できました。子どもたちのことを中心に考えて、いいアイデアが出ていると実感できましたので、とても今後楽しみだと思いました。私は今回初めて事業者に入らせていただいて、一緒に伴走していただくことを経験いたしました。連携して協働することで、いい内容となり、良い試みだと思いました。

また、どこに行っても小金井市の教育長さん面白いですよと言われるのですが、やはり計画冒頭の挨拶文を見ても、子どもが未来

を創る当事者というのが、キーワードになっているのかなと思っています。子どもの権利条約についてずいぶん昔から言われていましたが、それを形に残していったというのがすごく注目されるのではないかと思います。子どもたちのアンケートもこういうところにそのまま載せたというのはかなり珍しいのではないのでしょうか。かなり思い切った勇気のいることを、今回形にさせていただいたなと思っています。非常にそういった意味でも、2年間すごく刺激的で勉強になりました。どうもありがとうございました。

その他皆様、何か言い忘れたかこととかございませんか。今回、中村委員がご欠席されていて残念ですが、中村委員には、本当に議論に積極的にご参加いただき、ご意見を頂き、大変ありがたかったです。

それでは、議事はこれをもって全て終了となります。本当に皆さんお忙しい中、夜の時間帯に参加していただき、事務局の皆さんはいろいろな対応をしながらのこの業務は大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。

これをもって、令和7年第6回小金井市教育プラン検討会議を閉会したいと思います。皆様、長期間にわたりありがとうございました。お互いに体に気をつけて、無事に新年度を迎えたいと思います。では、これをもって散会といたします。

閉会 午後6時45分